

神奈川支部山岳古道調査の活動実績と今後の予定（概略）

1. 活動報告

(1) 煤ヶ谷～大山三峰～不動尻～広沢寺温泉古道調査

①日 時 2022年2月23日（水）

②天 候 晴、午後曇、一時雪

③参加者 砂田、永井、渡辺、葉上 計4名

④調査ルート

本厚木駅(7:40)＝(8:15)煤ヶ谷(8:20)～（#14 五大尊嶽）～(10:40)748m峰～（#17 釈迦嶽）～
※1～三峰北峰（#18 阿弥陀嶽）～(13:28)三峰中峰（#19 妙法嶽）～三峰南峰（#20 大日
嶽）～(14:30)不動尻分岐～(15:25)唐沢峠手前 850m峰（#21 不動嶽）～(16:35)不動尻（#22
聖天嶽）～(16:57)※2～(17:55)広沢寺温泉入口 BS＝(18:15)本厚木駅

※1 辺室山方面に#15 児ヶ墓、#16 金剛童子嶽の2つの行所があるが、今回は時間
の関係上計画から除外。

※2 #23 涅槃嶽（山ノ神隧道上）は、時間の関係上今回はスキップ。

⑤内 容

- ・ 標高700m付近から10日前に降った雪あり。748m峰から三峰へ続く縦走路は雪あり。
- ・ 丹沢山方面かなりの雪。奥秩父、奥多摩まで見えるが、関東平野、江の島等は少しかすむ。
- ・ 三峰痩せ尾根の通過、特に北面では、雪が氷化しているので滑り止めは必須。
- ・ 三峰通過後の不動尻分岐点から唐沢峠まではバリルートであるが、今回は雪上の足跡と赤リボンにより迷うことなく通過。ルートは、なだらかな尾根と痩せ尾根のミックス。
- ・ #21 不動嶽（唐沢峠手前の分岐）から不動尻へ下る。鎖場もなく比較的楽な下り。
- ・ #22 聖天嶽が不動尻にあるとなっているが具体的な場所不明。
- ・ #23 涅槃嶽は、山ノ神隧道上であるが、時間の関係上パス。(16:55)
- ・ 具体的な行所場所を示す石碑等はほとんど見つけられなかった。
- ・ 写真1添付（三峰に至る雪の尾根）

(2) 土山峠～辺室山～煤ヶ谷～不動滝古道調査

①日 時 2022年2月28日（月）

②天 候 晴れ

③参加者 葉上 計1名

④調査ルート

本厚木駅(7:40)＝(8:28)土山峠～(9:40)辺室山(9:45)～#15 児ヶ墓嶽～(10:03)#16 金剛童子嶽
～(10:36)物見峠～(10:55)748m峰～(12:15)煤ヶ谷～(12:29)不動沢～(12:55)不動滝～(12:32)煤
ヶ谷～清川村役場＝本厚木駅

⑤内 容

- ・ 2月23日に辺室山周辺の#15 児ヶ墓、#16 金剛童子嶽を除外したためのフォロー調査。
- ・ 辺室山頂南西に#15 児ヶ墓の目印等は見つけられなかった。

- ・ #16 金剛童子嶽は、小高い 641m ピークと思われる。樹木で少しさえぎられるが景色は良い。
- ・ 尾根を煤ヶ谷に向け #14 を過ぎ、尾根ルートへ。廃道同然の道でかなり荒れている。
- ・ 煤ヶ谷登山口から谷太郎川林道で不動沢へ入る。堰堤下を左岸へ移り、ログハウスを通過し、沢を渡り返しながら進むと不動滝（#13 不動岩屋）付近が見える。左岸を高巻道で落ち口へ。不動尊の祠あり。
- ・ 写真 2 添付（不動滝）

(3) 広沢寺温泉～山ノ神～大釜弁財天古道調査

①日 時 2022 年 3 月 6 日（日）

②天 候 晴れ

③参加者 葉上 計 1 名

④調査ルート

広沢寺温泉駐車場（7:30）～(7:47)石切り場跡～(8:05)山ノ神隧道広場～隧道通過～(8:10)鐘が岳登山口（8:15）～(8:23)山ノ神峠（#23 涅槃嶽）（8:38）～(8:50)山ノ神隧道広場～(9:15)大釜弁財天道入口～(9:32)滑岩～(9:37)大釜弁財天（#24 金色嶽）（9:42）～(10:00)広沢寺温泉駐車場

⑤内 容

- ・ 2 月 23 日、三峰踏査において時間の関係上割愛した #23 涅槃嶽（山ノ神峠）のフォロー。
- ・ 隧道を過ぎ、小沢を過ぎた左に鐘が岳入口の小さな手書き標識。山道の整備状況は良い。
- ・ 山ノ神は、峠から鐘ヶ岳方面に 30m ほど先の尾根上にある。大きなもみの木の先に不動明王と思われる石像と石祠がある。石祠には天保二年辛卯（1831 年）と記されている。
- ・ 峠からは、横浜高層ビル群を望む。）峠からは、南急坂を下り、広場へ下りる。
- ・ 大釜弁財天道入口の石柱を入ると右に墓地、その先に金網の柵。大沢川に出て左岸を進む。赤テープはあるが、道はかなり荒れている。堰堤に突き当たるので林道に上る。滑岩前である。
- ・ 大釜弁財天（#24 金色嶽）は、鳥居があり、岩屋の中に小さな祠と蛇のとぐろのような石がある。日本古来の宇賀神と弁財天の神仏混合か。昭和初めの雨乞い成就の石碑もある。
- ・ 写真 3, 4 添付（山ノ神石祠と石像）（大釜弁財天祠内）

(4) 第 10 番行所および 9～11 番行所ルートの古道調査

①日 時 2022 年 3 月 10 日（木）

②天 候 晴れ

③参加者 砂田、永井、葉上、

荻田氏（西山を守る会事務局長）他守る会会員 3 名 計 7 名

④調査ルート

・ 本厚木駅(8:40)＝(9:06)上飯山 BS・荻田氏待ち合せ～(10:25)325m 峰～厚木市道 I - 779 号經由～滝（#10 寺宿付近にあると思われる滝）～ゴルフ場西（ゲート）～（ゲート）～厚木市道 I - 779 号經由經由～(11:40)大平登山口（ミツマタ桃源郷）(12:15)～厚木市道 I - 779 号（ゴルフ場内）經由～(13:07)上飯山 BS～蓮久寺上（#11 仏生谷と思われる）～上舟沢 BS＝煤ヶ谷 BS(14:20)～不動沢出会い～不動滝・河原（#13 不動岩屋・児留園地宿）～(15:55)煤ヶ谷 BS(16:04)＝本厚木駅

⑤内 容

- ・10番行所の所在を高取山としている報告書がおおいが、文献（修験集落八菅山：宮家研究室）によると「行所の詳しい場所は確定できないが、水場があり、この山に滝洞寺という寺があったと伝えられる。ここが寺の宿である。」となっている。寺があり、水場があり、宿があるということになれば高取山山頂付近ということは考えにくい。西山を守る会の荻田氏から「滝があるあたりではないか」との話があり案内を願った。
- ・上飯山バス停から小鮎川の山王橋を渡り対岸へ。水車小屋跡を過ぎ金網柵に沿い進みゲートをくぐり山道へ。景色の良い尾根道を登り325m峰へ登る。
- ・325m峰から先は、立入禁止のため、右側の急坂を下り、北東の236m峰へ向かい、236m峰手前の鞍部を左側に下りる。これは厚木市道1-779号線（採石場工事に伴う付け替え道路とのことであるが手入れがされておらず廃道同然）で下っていくと沢に出、少し平坦な場所を更に下ると左側の沢の奥に落差6～7mの滝が見える。高取から、11番行所への経路にも近く、寺や宿が設置できる平坦地があり（ゴルフ場もある）、更には滝修行の場所もあることからこの付近に10番行所があったという推理も成り立つ。
- ・大平登山口では、ミツマタのつぼみがかかなり膨らんできた。昼食後、荻田氏と別れ、徒歩で蓮久寺（仏生谷と思われる地点）へ向かう。
- ・日蓮宗・蓮久寺上の小さな平地に七面山、明神神社、稲荷神社が鎮座している。大山、西山の景色もよく、行所のたたずまいが感じられる。ここからは、白山神社（#12腰宿）方面へ登ることができると思われる道もある。
- ・蓮久寺は不在。その後、電話でも出られず、また連絡する。
- ・上舟沢BSからバスで煤ヶ谷へ移動。
- ・不動沢に入り、ログハウスを過ぎ、不動滝（#13不動滝・不動尊）を往復。
- ・ログハウスの前後には「私有地立入禁止」の標識があるため、当該場所に限り、不動沢を歩く。
- ・ログハウスのすぐ下には、平地で石積みの祭壇状の場所があり、不動堂があったという#13不動岩屋・児留園地宿ではないかと想像する。

（5）八菅24番～28番行所の古道調査

①日 時 3月19日（土）

②天 候 晴れ、曇り、雨

③参加者 砂田、永井、渡辺、葉上 計4名

④調査ルート

- ・厚木BC(7:30)＝(7:58)広沢寺温泉入口～(8:50)#24金色嶽(大釜弁財天)～(9:30)弁天の森キャンプ場跡地～(9:40)「弁天見晴尾根」取付～(9:50)五段の滝～(9:55)「弁天見晴尾根」取付～(10:15)ひょうたん広場～(10:50)弁天見晴(#26千手嶽)～(11:11)見晴広場B～(11:25)見晴広場A～(11:45)すり鉢広場(#27空鉢嶽)～(12:25)鍵掛(11:50)～(13:25)893m峰(#28明星嶽)～(14:00)唐沢峠北不動尻分岐(#21不動嶽)～(14:57)不動尻～(14:50)～山ノ神峠(#23涅槃嶽)～広沢寺温泉入口BS(17:16)＝本厚木駅

⑤内 容

- ・広沢寺駐車場で地元観光協会が「ミツマタ祭り」登山届を出す。アンケートに答え厚木名物アユにちなみ和菓子「鮎」を人数分頂いた。
- ・大釜弁財天(#24金色嶽)は、前述(2/28)のとおり。

- ・弁天の森キャンプ場跡前でヒル対策。結果は、雨が冷たかったせいかヒルは見えなかった。
- ・神奈川県が整備したキャンプ場は跡形もなく解体されていた。
- ・しばらく整備されていない道を沢沿いに歩き、堰堤上で林道へ、再び山道で「弁天見晴尾根」取付き、古い案内標識があり、急登の尾根にロープが見える。
- ・五段の滝への標識に従い、山道を 200m 弱上流に行くと五段の滝の標識があり、左岸からの枝沢に 4～5 段の滝が見える。ここには、弁天御髪尾根に至る登山道が見えるが整備状況も悪そう。利用者はほとんどいないのではと思える。キャンプ場跡地からこの付近が #25 十一面嶽ではないかと想像。
- ・「弁天見晴尾根」取付きに戻り、急坂をロープに助けられながら登る。何か所もロープがあり、かなりの急登。古いロープとそこそこ新しいロープが混在。
- ・ひょうたん広場には四方の柱の下が腐り、四隅をワイヤーで補強された東屋がある。ここがかつてのハイキングコースならばすごい急坂でびっくり。
- ・さらに急坂を登ると弁天見晴（#26 千手嶽）に出る。このころから霧に覆われてきたが晴れていればまさしく見晴らしである。
- ・この後、見晴 B、見晴 A、すり鉢広場（#27 空鉢嶽）を經由、根の張った痩せ尾根等を通し、鍵掛で昼食。
- ・昼食後、三峰・大山縦走路 893m 峰（矢草の頭）（#28 明星嶽）に出る。縦走路からは、この尾根（弁天御髪尾根）への立ち入りをしないよう横木が渡してある。
- ・ここで、小雨が降りだしたので、大山山頂を断念し、唐沢峠経由で不動尻まで下ることにルート変更。不動尻のミツマタは、9 分咲き。
- ・山ノ神隧道上の #23 涅槃嶽（前述 3/6 のとおり）を確認し、広沢寺温泉へ下山。
- ・今回で 30 行所完結予定であったが、28 番行所までとなった。残りは、今秋実施し、30 行所、50Km を完結する予定とした。
- ・写真 5 添付（不動尻ミツマタ）

2. 今後の予定

- ①3 月 28 日（月）八菅神社春の礼大祭（山伏火渡り神事）コロナで開催中止。
- ②3 月 30 日（水）頃 箱根町観光課訪問。
- ③4 月 15 日（金）日向薬師春の大祭（山伏神木登り・火渡り神事）開催未定。今年は、16 日（土）との情報がある。後日連絡する。16 日ならば箱根優先で来年繰り越し。
- ④4 月 16 日（土）箱根旧街道東坂（須雲川～箱根関所）支部内公開山行予定。
- ⑤5 月 7 日（土）箱根旧街道西坂（箱根関所跡 BS～三嶋大社）支部内公開山行予定
- ⑥5 月 箱根湯坂道調査
- ⑦6 月 18 日（土）足柄古道（矢倉沢？～JR 足柄駅）支部内公開山行予定。
- ⑧今秋 八菅修験道最終 #28～#29 大山山頂～#30 阿夫利神社下社踏査
- ⑨その他

以 上